



ようちび ぶんかさい



今年度は、レインボーホールで、1・2年生は「ピーターパン」の劇、3年生は「3まいのおふだ」の劇を発表しました。11月15日(火)のリハーサルでは、小学部1～3年が見に来てくれました。18日(金)の校内発表では幼稚部内で互いの劇を見合い、いよいよ19日(土)には保護者への発表を行いました。楽しくかわいいダンスや演技を行った幼1の子供たち。台詞や動きを覚えて役になりきって演じた幼2の子供たち。3まいのおふだに何を願うかを子供同士で相談し、ユニークなアイデアで、見事、やまんばから逃げ切る創作ストーリーを演じきった幼3の子供たち。学年ごとの成長が感じられる楽しい文化祭となりました。

幼1りす組と幼2ぱんだ組の劇「ピーターパン」



はじめは役を変えながら何度も劇ごっこを楽しんでいた子供たち。そのうちに自分のやりたい役のイメージができてきて、何度か相談をして役を決めました。



幼1の子供たちは、初めての劇発表でしたが、ダンスや台詞を覚えて楽しく演じることができました。幼2の子供たちは、動きや台詞を覚えて、それぞれの役らしい動きを意識しながら演技することができました。劇の最後には、自分たちで色を塗った海賊船に乗り、家に帰るシーンを演じました。同じ劇を経験することで、りす組とぱんだ組の子供たちが一緒に遊ぶ姿が増えるなど、普段の生活にも縦割り活動の良さが反映しています。

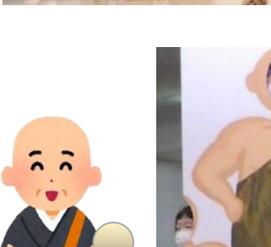


幼3らいおん組ときりん組の劇「3まいのおふだ」



幼3の子供たちは、普段から様々な話し合い活動を重ねながら、主体的に行事を行っています。「3まいのおふだ」の劇でもアイデアを出し合い、原作とは異なる以下の3つのお願いを決めました。

- ①踏切でやまんばを立ち往生させる。
- ②長いゴムの弾む力を使ってやまんばと対決する。
- ③やまんばを牢屋に閉じ込める です。



原作よりも、より楽しい創作劇になり、子供たちも役になりきって、生き生きと演技していました。仕草や立ちポーズなどがカッコいいだけでなく、手話や音声での表現もより分かりやすく、さすが幼3と感心するすばらしい劇でした。